

CRO メッセージ

変化の時代における
持続的成長に向けてリスクを見極め、
挑戦を後押しする態勢を整える

常務執行役員
リスクマネジメント本部長 兼 審査本部長
Chief Risk Officer
Chief Credit Risk Officer

小池 壘



不確実性を増す環境下でのリスク管理の重要性

当社グループを取り巻く事業環境は、地政学リスク、金融市場の変動、事業領域における需給変化などを背景に、不確実性が一段と増しています。とりわけ、中東情勢の混迷が示したように、地政学情勢の緊迫化はエネルギー価格の高騰やサプライチェーンの混乱を通じて、幅広い産業や経済活動に影響を及ぼし得るものと認識しています。他方、生成AIをはじめとしたデジタル技術の進展は加速しており、ビジネスのあり方にも大きな影響を与えています。

このような環境下で持続的な成長を実現していくためには、リスクを過度に回避するのではなく、取るべきリスクを見極め、適切にコントロールできる態勢を全社的に整えていくことが重要だと考えています。そのために、全社リスク管理の継続的な態勢整備に加え、リスクコミュニケーションの強化にも重点的に取り組んでいます。足元では、当社グループとして最も警戒すべきリスク事象を「トップリスク」として特定し、全社的なリスク認識の共有・高度化を図りました。そのほか、リスクの所在や管理状況を可視化する「BI (Business Intelligence)

トップリスク (2026年6月時点)

リスク事象				
地政学リスク	サイバー攻撃	与信費用増加	事業投資採算悪化	関税政策、 輸出規制等の強化
国内経済、 財政不安	大規模災害	外貨資金調達 リスク	人的資本の制約	サステナビリティ 対応に関するリスク

版リスクマネジメント・ダッシュボード」を展開し、その活用を進めるとともに、営業・事業本部とコーポレート部門がリスク認識や課題を共有する場を設け、リスクアパタイトとポートフォリオ戦略の明確化に向けた経営判断につながる議論を充実させています。

さらに、「ビジネスモデルの進化・積層化2.0」の推進に向けた新規ビジネスへの取り組みに対しては、事業の初期段階から関係部署が連携し、リスクの特定・評価・対応策を全社一丸となって検討することで、挑戦を後押しするサポート態勢の構築を進めています。

持続的な成長を支えるリスクマネジメント

自然災害やサイバーインシデント等のリスク事象に備え、BCM (事業継続マネジメント) 戦略の実効性向上も重要な経営課題であると認識しています。当社グループでは、危機管理および事業継続に関する態勢整備や訓練を継続的に実施するとともに、サイバーインシデントへの対応力についても、予防・検知・対応の各段階で強化を進めることで、事業継続性の確保と早期復旧を支えるレジリエンスの向上に取り組んでいます。

加えて、AI活用の進展にともない、生産性向上や業務高度化の機会を取り込みつつ、情報管理、適正利用、誤情報への対応、知的財産権への配慮などの観点で踏まえ、AI活用にもとなう多様なリスクへ適切に対応するため、AIガバナンスの整備を進めています。

こうした取り組みを通じて、リスクマネジメントを、会社の業務運営の安定性を守るだけでなく、持続的な成長を支える仕組みとしてさらに高めていきます。今後も、変化の大きい時代のなかで、安心して挑戦できる経営基盤づくりを進めていきます。